SUNABANASHIは、減少するあそび場「砂場」を中心に、こども達が公園の社会問題を解決に導きます。これまで大人が解決していた公園の社会課題解決を、こどもを主体とすることで、まったく新しい「課題発見」「解決アイデア」「社会への波及力」を生み出す、連続ワークショップ型の課題解決&教育プラットフォームです。



砂場は、こどもが「社会性と創造性を体験する」最初の遊具です。こども達は砂場でのあそびを通じて、課題を発見し、それを解決して、自分らしく遊ぶ方法を考えます。 SUNABANASHI は、その「砂場」をテーマに 4 つの STEP の研究と議論を重ねることで、こども達が社会の課題に向き合い、自主的に考える思考力、課題を解決する力、そして発信する力を育みます。



調査

自ら各地の砂場や公園を訪れ、 調査し、問題を自分ごと化します。 1



発見

何が本当に解決すべき課題なにかを 探求し、本質的な課題を設定します。 2



解決

課題解決に向けて、自分らしい クリエイティブを発揮します。 3



発信

情報を伝わる形に変える努力を体験。 広く発信するための方法も考えます。 4



日本では、砂場が減少傾向にあります。(平成 27 年・令和 4 年 国土交通省調査結果) この背景には様々な要因がありますが、主には野生動物による衛生問題、安全性への 懸念、空間の制約、維持管理の問題などがあります。しかし、砂場はとても魅力的な 遊具であり、なくしてはならない遊具です。

世界 2700ヶ所以上の砂場を巡り、公園を取り巻く様々な問題や課題の解決方法を模索してきました。砂場の他にも「こども達の声は騒音なのか?」「なぜボールあそびが制限されるのか?」「インクルーシブ遊具はどうあるべきか?」単に撤去することで解決されるわけではなく、もはや大人だけでは公園を取り巻く社会課題解決には限界があると考え、当事者であるこども達が主体となり解決策を探る「SUNABANASHI」をデザインしました。



日本の砂場が減少している問題について

- 1993年(平成5年)の都市公園法の改正により公園に砂場の設置義務がなくなる
- 1995 年(平成7年)の幼稚園設置基準からもはずれ、砂場の設置は施設設置者の任意の判断に任されることになる
- 平成 25 年の砂場の数は 62,275 箇所
 - ※国土交通省「報道発表資料:都市公園における遊具等の安全管理に関する調査の集計概要について」平成 27 年 3 月 31 日版
- 令和元年の砂場の数は 49,595 箇所
 - ※国土交通省「報道発表資料:都市公園における遊具等の安全管理に関する調査の集計概要について」令和4年6月24日版

なお、同様の統計調査は 1998 年(平成 10 年)以前は行われていませんが、 1993 年の都市公園法改正までは「児童公園」に砂場の設置が義務付けられていた ことから考察すると、この間、急激な砂場の消滅があったことが推測されます。

こども達の声は騒音ですか?

他にも公園をとりまく社会問題は様々です。 もはや大人だけでは公園を取り巻く社会課題解決には限界があります。

砂場が衛生的でないと言われて敬遠されているのはなぜだろう?
インクルーシブ遊具って本当はどんなのがいいの?
公園でボールあそびできないのはなんでだろう?
砂場衛生問題。野良猫問題はどうして起きているんだろう?
こどもの声ってうるさいのかな?何 dB なの?
公民館や公園。みんなの場所になっているかな?
起伏の激しい凸凹の公園がつくりたい!でもゲートボールはできなくなる?
その他、老朽化問題。ホームレス問題。ゴミ問題。雪国ならではの問題。 etc

SUNABANASHI はこども達と社会へ3つの強力な効果を生みます

① 【課題の自分ごと化】

こども達が自主的に調査し考えることで、社会課題を自分ごと化して考える習慣が身につきます。

② 【新しいアイデア】

大人では行き詰まった課題について、こどもらしい斬新なアイデアで風穴をあけられます。 企業や行政にはとても必要なブレイクスルーをもたらします。

③ 【強力な発信力】

こどもが発信するアイデアは、周りの大人を巻き込み、そして世の中を 動かす力になります。こども達のピュアな視点こそが、社会の視点を変える力です。

SUMMER in Kanazawa 2023.07.16 実態調査からスタート!まずは砂場を掃除しました。









SUMMER in Kanazawa 2023.07.16 遊びやすい砂場を知るために本気の砂場あそびを体験。









SUMMER in Kanazawa 2023.07.16 公園について思うこと課題をみんなで共有しました。









SUMMER in Kanazawa 2023.08.21 市役所の方も参加し、実態調査の報告をみんなでシェアしました。









SUMMER in Kanazawa 2023.08.26 その結果から公園の問題が多く浮き彫りになりました。

SUMMER in Kanazawa 2023.08.21









SUMMER in Kanazawa 2023.08.21 どうすれば課題が解決するのか話し合いました。









SUMMER in Kanazawa 2023.08.21

砂と土の特性を活かしてピカピカのどろだんごづくりもしました









SUMMER in Kanazawa 2023.10.24









SUMMER in Kanazawa 2023.10.24









SUMMER in Kanazawa 2023.10.24









SUMMER in Kanazawa 2023.10.24











Fukuoka#1

開催時期:2024年6月~9月 (期間内において、stepを踏んで計4回開催)

1st: 6/30 (日) 2nd:7/21 (日) 3rd:8/25 (日) FINAL: 9/29 (日)

会場:〒819-0388 福岡県福岡市西区九大新町5番1 いと Lab+ /九大伊都蔦屋書店/こどもまなぶベース/九大新町公園

参加者:福岡市在住の小学 4 年生以上のこども

連携先:福岡市総務企画局企画調整部企画課・

福岡市住宅都市局公園部政策課·福岡地域戦略推進協議会(Fukuoka D.C.)

九州大学共創学部·九州旅客鉄道株式会社(JR 九州)·

九大新町公園愛護会·他

主催:大和ハウス工業株式会社・西部ガス株式会社・株式会社 SUNABA

共催:九大伊都蔦屋書店・こどもまなぶベース・SUNABANASHI 運営実行委員会